

「BEMS普及コンソーシアム京都」 推進事業について

- 1 京都市の民生・業務部門における省エネ・節電対策
- 2 今後の「BEMS普及コンソーシアム京都」推進事業

BEMS普及コンソーシアム京都
27年度第3回研究会

1 京都市の民生・業務部門における 省エネ・節電対策

(1) 背景

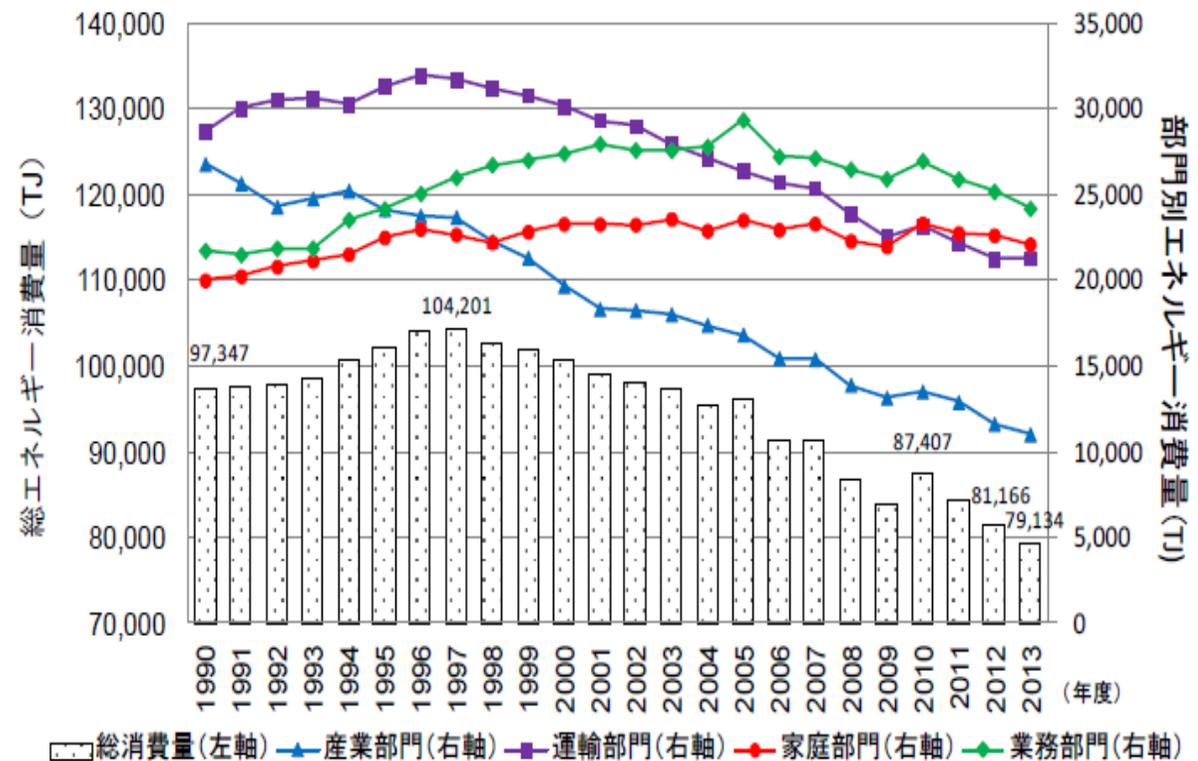
- 市内の事業者から排出される温室効果ガス(CO₂の排出量)は、基準年である1990年と比較して、全体では減少しているが、民生・業務部門については増加しており、この部門の対策強化が課題であった。

【主な原因】

- この部門に属する
施設の床面積増加
- サービス後退への懸念
- 中小規模施設における
エネルギー管理担当者の不在

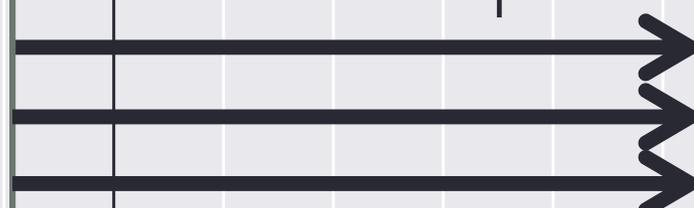


- このため、民生・業務部門施設を主な対象として、新たな対策に取り組むこととなった。



＜エネルギーの部門別及び総消費量の推移＞

(2)これまでの省エネ・節電対策事業の取組

平成25年度					平成26年度					平成27年度				
医療・福祉施設の 省エネ・節電普及研究会					BEMS普及コンソーシアム京都									
8月	10月	11月	2月	3月	8月	10月	1月	3月	8月	9月	12月	3月		
研究会①	研究会②	研究会③	研究会④	研究会⑤	設立フォーラム	総会・研究会①	研究会②	研究会③	総会・研究会①	企業アンケート	研究会②・マッチングセミナー	研究会③		
桃陽病院BEMS実証					洛西支所BEMS実証					BEMS導入支援 エネルギー専門家派遣				
														

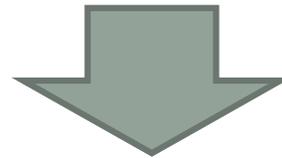
(3)【平成25年度】京都市医療・福祉施設の 省エネ・節電対策普及研究会

【概 要】

本市では、BEMSの導入を核とした新たな省エネ・節電手法を検証するため、民生・業務部門の中でもエネルギー使用量が多い医療・福祉分野にターゲットを絞った医療・福祉施設に関する省エネ・節電対策普及研究会を設置した。

【主な取組】

- 民間事業者との共同実証研究
(京都市桃陽病院におけるBEMS実証事業)
- 研究会開催



医療・福祉施設にBEMSを導入することにより、更なる省エネ・節電の取組が実施できることが確認された。

(4)【平成26年度～】

「BEMS普及コンソーシアム京都」推進事業

【概要】

平成25年度事業の知見を生かし、民生・業務部門の幅広い分野を対象に、業種ごとの特性に応じた効果的なBEMSの導入促進を目的とした「BEMS普及コンソーシアム京都」を設立した。

【主な取組】

- ▶モデル施設へのBEMS先行導入支援
- ▶エネルギー管理専門家の派遣
- ▶民間事業者との共同実証研究
(京都市洛西支所におけるBEMS実証事業)
- ▶研究会・マッチングセミナーの開催



民生・業務部門の各分野の施設についてもBEMS導入の効果が確認でき、その共有を図ることができた。

◎ BEMS先行導入支援補助金実績

施設	北大路 病院	両洋高等 学校	いわやの 里	杉江電機 工業	佐野家 坂の上	錦わらい
用途	病院	学校	福祉	事務所	旅館	店舗
導入 年月	平成27年 3月	平成27年 3月	平成27年 3月	平成27年 3月	平成27年 9月	平成28年 3月
デマ ンド	177kw ↓ (▲30kw) 147kw	82kw ↓ (▲10kw) 72kw	128kw ↓ (▲20kw) 108kw	低圧受電	検証中	検証中
年間 削減	約80万円	約30万円	約34万円 (デマンド削減)	検証中	検証中	検証中
備考	デマンド制御 見える化	デマンド制御 見える化	デマンド制御 見える化	見える化	見える化	見える化

※平成27年8月研究会資料より

- 民生・業務部門の6部門(医療, 学校, 福祉, 事務所, 旅館, 店舗)にモデル施設としてBEMSを導入。

◎ エネルギー管理専門家派遣実績

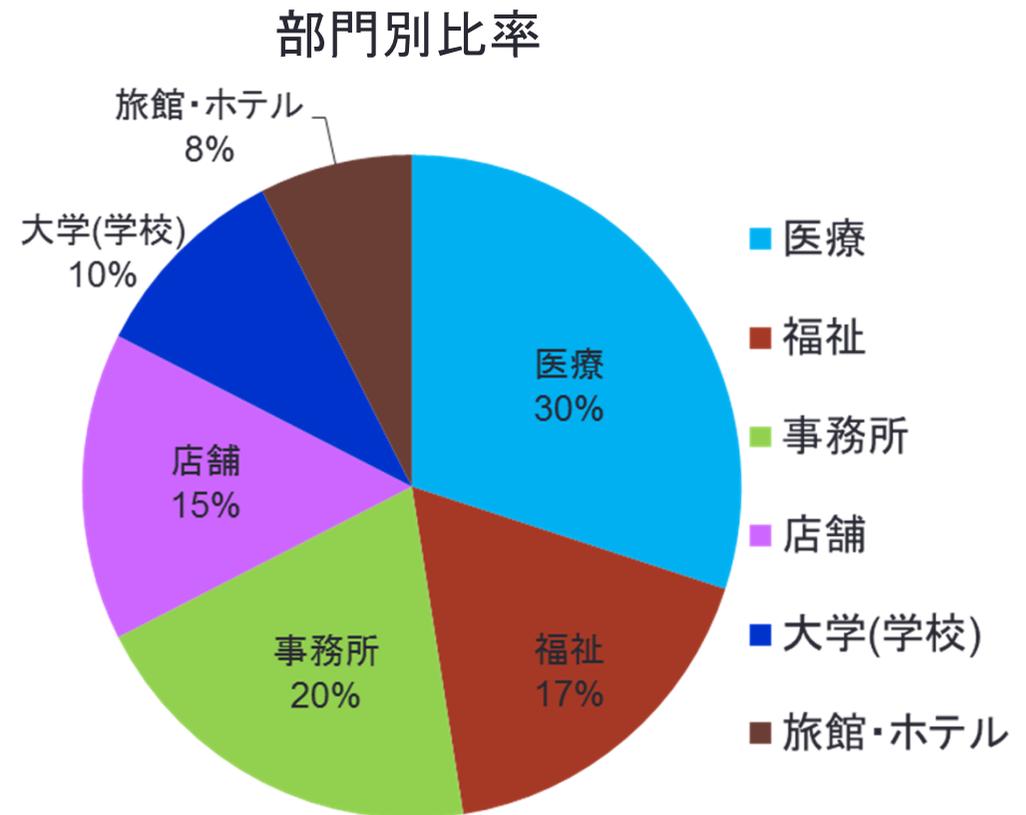
実績件数

平成26年度:11件

平成27年度:29件

累計:40件

- 医療, 福祉部門の施設への派遣が半数近くあった。
- 専門家派遣を契機にBEMSを導入及び導入に向け検討を開始した事業所があった。
- BEMS先行導入支援を活用したモデル施設へ専門家を派遣し, 専門家の視点でBEMS導入後の効果及び検証を実施した。



(5) 研究会における意見・課題

意見

- “点”でうまく行きかけている成果を“面”にして、全体に広げていくことが重要
- 同業他社の取組を知ることが自社の省エネのきっかけとなる

課題

- 中小企業では費用対効果が低い
- BEMSによるデータがあってもうまく活用できない
- 施設利用者の理解と協力が必要
- 省エネを行うことでサービスの低下につながる

2 今後の「BEMS普及コンソーシアム京都」 推進事業

(1) 産業エネルギーマネジメントシステムに関する 支援体制について

市長，府知事，商工会議所会頭，工業会会長により，京都における産業エネルギーマネジメントシステムに関する支援体制が協議された。

ステアリング・コミッティ(平成26年12月開催)

方針

府市がそれぞれ独自で実施しているBEMS関連事業については，平成28年度から，府市のFEMS関連事業を統合実施している(一社)京都産業エコ・エネルギー推進機構に合流させ，産業エネルギーマネジメントシステムに関する一体的な支援体制を構築する。

(2) 平成28年度の「BEMS普及コンソーシアム京都」 推進事業について

平成28年度については、京都産業エコ・エネルギー推進機構の事業と重複しない取組を行うこととし、普及啓発やエネルギー専門家派遣事業は実施しない。

なお、本コンソーシアムは、事業開始後3年を目途に民間主体の自主的な取組への移行を目指すとしていることから、平成29年度以降の在り方について、同推進機構の取組を踏まえて検討する。

平成27年度実施業務

- モデル施設BEMS先行導入支援
- エネルギー管理専門家の派遣
- 民間事業者との共同実証研究
(洛西支所BEMS実証事業)
- 研究会の開催

平成28年度実施業務

- × 平成27年度で終了予定
- × 推進機構へ統合
- × 平成27年度で終了
- ○実施(コンソーシアム事業の総括)